

ボラ♥ほっと

第39号

発行：北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター（TEL：0568-25-8500） 編集：北名古屋市ボランティア連絡協議会

迎春

元気いっぱい

やる気いっぱい

笑顔いっぱい

今年もよろしくお祈いします

ボランティア一同



申年 桂の会 の作品

※ボラ・ほっとは、皆さまから寄せられた共同募金の配分金の一部で作成しています。

昨年、北なごや防災ボランティアが“親子で防災体験”でクロスロードゲームを行いました。ゲームの一部を紹介します。家族や友達と一緒にゲーム感覚でやってみてください。いろんな意見が出ておもしろいですよ。

YES or NO

◆あなたはボランティアリーダー

高齢者の方が夜寒いので毛布をもっと貸してほしいといっている。自宅から持ってきている人もいるようだが貸してあげる？

YES (貸す) *OR* **NO** (ことわる)

♥お年寄りほっとけないけど、自分の分を貸してあげてしまっても大丈夫？

◆あなたはボランティア

せっかく休みを取って来たのに、依頼が少なくボランティアセンターでの待機が続いた。午後になり、家具の運び出しの募集がきたが、力仕事の自信はない。応募する？

YES (応募する) *OR* **NO** (応募しない)

♥気持ちは大切、でも自分はどこまでできるんだろう

◆あなたはボランティア

活動をしていたら、地元のおばあちゃんから「お疲れさま、これ食べて」とちり紙に包まれたおまんじゅうを手渡された。その場で食べる？

YES (食べる) *OR* **NO** (やめておく)

♥せっかくの感謝の気持ちを無にするのも？でも中には誤解する人もいるかも

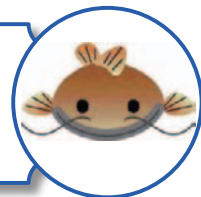
◆あなたはボランティアセンターのスタッフ

避難所から余った弁当がボランティアセンターに届けられ、希望者に配っていたところ、「被災者以外が食べるのはおかしい」という指摘があった。配布を続ける？

YES (続ける) *OR* **NO** (やめる)

♥ボラは自己完結の原則だけど、捨ててしまうのはもったいないし

♥印は、防災ボランティアリーダーからのアドバイス
どちらの答えを選択したとしても必ず問題点はあるはず。
その問題点の解決方法を考え実行するのが重要。



クロスロードゲームってなに？

災害時には様々な事象に遭遇します。目の前で危険なことや困ったことを見た時、あなたは「どうするか」の選択を強いられます。すなわち「する」「しない」の分岐点(クロスロード)です。このゲームは、災害時に遭遇すると考えられる事象に関する設問に対して、「YES」か「NO」の二者択一で回答し、なぜ「YES」と考えたか、なぜ「NO」と考えたかを参加者全員で考えることにより、地域での自助・共助の意識を高めることや、官民の連携を強化するためのヒントを探るためのものです。したがって、設問に対する正解はありません。「各個人が考えていること」が正解です。それらを発表しあい、共有しあい、対策を考えることにより、防災・減災に関する取り組みを進めていくきっかけとするものです。

近年、あちこちで災害の報告が聞かれます。わが町も15年程前東海豪雨で被災しました。楽しいひとときを迎えられていると思いますが、こんな時こそ皆さんで防災についてお話しただいかげでしょうか。

あなたはどっち？

◆あなたは被災者

家が壊れたので、家族が避難所へ。非常持ち出し袋は、水も食料も3日分はある。回りには、水も食料も持たない家族がいっぱいいる。その前で非常持ち出し袋をあける？

YES (あける) *or* **NO** (あけない)

♥非常持ち出し袋を準備しない人が悪いけど、いろんな事情で持ち出せなかった人もいるかも

◆あなたは被災者

避難所の体育館でとなりに避難してきた人のいびきがひどくて眠れなかった。場所を変えてほしいとたのむ？

YES (たのむ) *or* **NO** (がまんする)

♥このままだと自分の体がまいってしまうし、なにかいい方法はないでしょうか

◆あなたはペットを飼っている住民

避難勧告により、あなたは避難所に避難することになった。あなたは避難所にペットをつれて行く？

YES (つれて行く) *or* **NO** (つれて行かない)

♥ペットは家族、でも避難所にはアレルギーがあったり犬や猫などが嫌いな人も

◆あなたは30歳代の夫婦

ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに二人とも大満足。しかし、大地震がきたら家具が倒れるかもしれない。恰好は悪いが耐震金具を家具につける？

YES (つける) *or* **NO** (つけない)

♥見栄えよく、かつ倒れない方法がないかしら

◆あなたは主婦

防災のため、風呂の残り湯を浴槽にためておくといわれる。しかし浴室がかびるかもしれないし、湯あかがつくと掃除が面倒。それに滅多に災害なんてこない。それでも残り湯をためておく？

YES (ためておく) *or* **NO** (ためておかない)

♥水は絶対必要、風呂以外に方法はないかしら

◆あなたは母親

避難所暮らしは余震が続くなか安心だが、このところの寒さで風邪が大流行中。幼い子に風邪がうつるのではと心配。避難所を出て半壊状態のわが家に戻る？

YES (もどる) *or* **NO** (もどらない)

♥風邪をひくリスクか、家で怪我するリスクかどっちをとる？

とどけよう!つなげよう!ボランティアの心とちから

昨年11月23日(月・祝)市健康ドームで“ふれあいフェスタ2015”《つなげよう!あの日の思い つづけよう!東北支援》が開催されました。体験コーナーや物産販売、模擬店など多くの方々にぎわい、楽しんでいただくことができました。



東尾張ブロックボランティア集会

小牧市市民会館・公民館で『未来へつなぐボランティアの心』というテーマで開催されました。

オープニングは小牧少年少女合唱団に始まり、日本笑い学会会長森下伸也氏の講演は“笑いは百薬の長”と題して、医療現場にもユーモア療法が取り入れられているそうで、「まず大きな声で笑ってみましょう!」と、いろんな笑い方で、会場の皆さんと笑ってみました。午後からは10部屋に分かれての交流会で、私は大川実音史氏(グリンちゃん)の“心と体の健康笑いヨガ&ヒーリングハーブ”に参加しました。「過去と相手は変えられないけど未来と自分は変えられる」と、5つの方法を教えてもらいました。①深呼吸②笑う③胸郭を広げる④なでる⑤ほめると、これが幸せへのルーティン(決められた一連の動き)だそうです。エンディングは愛狂亭ふくら君の落語“ひらばやし”で笑い、会場では至るところで活躍している学生ボランティアにチョッと羨ましく、元気をもらった一日でした。【広報 大野あけみ】



10/31(土)



屋外



★『北小ボランティアクラブ』に模擬店の一角を担当していただきました。

東北支援コーナー



♡今年度、ボランティア連絡協議会では東北支援のコーナーを設置しました。ご協力ありがとうございました。その他に模擬店の売上げの一部を、復興支援に寄付いたしました。

ご来場 ありがとうございます!

